

福岡証券取引所・同活性化推進協議会 第7回「企業交流会」開催のご報告

福岡証券取引所、福岡証券取引所活性化推進協議会は、平成30年3月22日（木）、福岡市の「ホテルニューオータニ」において、関係行政機関、会員証券会社、福証上場企業、上場を目指す企業、監査法人、ベンチャーキャピタル等の広範な関係者を多数お招きし、第7回目となる「福岡証券取引所 企業交流会」を開催いたしました。

当日は、230名を超えるご来場者があり、ご来場の皆様から大変好評をいただきました。



開会にあたり、福岡証券取引所活性化推進協議会の貫 正義会長（福岡経済同友会代表幹事）が挨拶し、九州においては、アジア経済の発展を取り込み、日本の西の玄関口として拠点的な役割を果たしていくためには、福証の活性化が極めて重要であり、「新規上場の促進」と「売買市場の活性化」という福証のミッションを踏まえ、今後とも、スタートアップ支援などに加え、新たな取組みを進めていくと述べ、関係者の一層のご支援・ご指導をお願いしました。



（会場一杯のご来場者）



ご来賓を代表して 小川 洋 福岡県知事がご挨拶され、福岡県において取り組んでいる諸施策等について、また地域経済の自立的な発展を実現していくためには、それを支える資金供給システムが必要であり、福証が、今後ともアジアに開かれた金融セクターとして大きく発展して、地域の企業を支えていくことを期待していると述べられました。



第一部では、菅谷 俊二 株式会社オプティム 代表取締役社長から『第4次産業革命の中心的企業を目指して』と題したご講演があり、生産やサービス提供などの経済活動や、我々の生活スタイルを大きく変える可能性のある志の強い取り組み等を踏まえた大変感銘深い講演となりました。

講演に引続き、第二部（交流会）に移りました。



冒頭に、平成29年に新規上場を果たされた企業（1社）と「九州IPO挑戦隊」に加入され、ご出席された企業（7社）のご紹介が行われました。



この後、第二部（交流会）の開会にあたって 部谷 由二理事（西日本鉄道 代表取締役副社長執行役員）がご挨拶され、皆様が懇親を深め、新しい出会いと連携が生まれますことを大いに期待するとされ、力強く乾杯の音頭をとられました。

証券取引所 企業交流会



懇親会では、福証の幅広い関係者による業種等の枠を超えて熱心な意見交換が行われ、大盛況でした。



最後に 小田原 智一 福証
理事長より、多くの皆様に参加
していただいたことに対する
感謝の辞を述べるとともに、九
州・山口地域の自立的経済の発
展の為に、「お金の地産地消」
等を促進していくことが重要
であることを述べ、今後も引き
続き力強く福証を支えていた
だくことを皆様にお願ひし、閉
会となりました。

福岡証券取引所では、今後もこのように本所の幅広い関係者の方々の相互交流の機会を積極的
に設けてまいります。

また、個人投資家向け会社説明会「福証IRフェア」の開催等を通じて、本所上場会社の
九州地区におけるIR活動のお手伝いをさせていただきます。

今後とも、福岡証券取引所をお引き立てくださいますよう、お願ひ申し上げます。